

デジタルHDビデオカメラレコーダー

リファレンスガイド



HDR-AS50

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、ケーブル端子にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

本機の動作がおかしくなったり、破損していることに気がいたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら → ① 電源を切る
② 電池を外す
③ 相談窓口につながる

裏面に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。



4 5 8 6 8 6 5 0 1 0

警告表示の意味

本書や製品では、次のような表示をしています。



危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。



警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。



注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

| 注意を促す記号 | 行為を禁止する記号 | 行為を指示する記号 |
|---------|-----------|-----------|
| 火災 感電 | 禁止 分解禁止 | 指示 |

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。



警告



火災 感電

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。USB接続している場合は、USBケーブルを抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、本機の操作は絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の方法で充電しない

火災やけがの原因となる場合があります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

長時間、手に持ち続けて使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。



禁止



注意



火災 感電

下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

油煙のあるところでは使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

レンズに衝撃を与えない

レンズはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

メモリーカードをはずすときは、手をそえる

メモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

ワイヤレス機能ご使用上の注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。



危険

- バッテリーパックは指定された方法や、正規のバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止



警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。



禁止



注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。



指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。



充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com/>
を参照してください。

Li-ion

リチウムイオン電池

使用上のご注意

他機での再生について

本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

Wi-Fi/Bluetooth機能について

- ご使用になる場所の規則に従ってお使いください。
- 水中ではWi-Fi/Bluetooth機能はお使いいただけません。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約−10℃～+40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所でのご使用はおすすめてできません。

温度上昇についてのご注意

- ご使用中に本体およびバッテリーが熱くなりますが故障ではありません。
- 本体を直接手に持ったまま、あるいは直接素肌に触れたままの状態で長時間ご使用になることは避けてください。アンダーウォーターハウジング、または別売のマウントアクセサリーのご使用をおすすめします。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が速くなります。
- 本機の温度を充分下げるために、電源を切ったときは10分以上そのまま放置してください。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために自動的に動画撮影が停止したり、電源が切れることがあります。撮影が停止したり電源が切れる前には、本機の表示パネルに **[⏏]** と表示されます。このような場合は、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び動画撮影が停止したり電源が切れることがあります。

防じん・防水性能について

同梱のアンダーウォーターハウジング装着時は防じん、防水（水深60 m、連続30分）仕様です。アンダーウォーターハウジングの使いかた、取り扱い上の注意については、ヘルプガイド（Web取扱説明書）をご覧ください。

別売のアクセサリーについて

国や地域によっては発売されていないものもあります。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティーについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティー対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ACアダプター（別売）について

ACアダプター（別売）は手近なコンセントを使用してください。

本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電気を遮断してください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

| |
|---|
| <p>この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項</p> <p>本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。 その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本書をご覧ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">2.4DS4/OF4/XX8</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">■■■■■■■■■■</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">■■■■■■■■■■</div> </div> <p>2.4:2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。</p> <p>DS/OF/XX:変調方式が DS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。</p> <p>4:想定される与干渉距離が40 m以下であることを示します。</p> <p>8:想定される与干渉距離が80 m以下であることを示します。</p> <p>■■■■■■■■■■:2400 MHz～2483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。</p> |
|---|

飛行機などに搭乗するときは

一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。

飛行機モードを **+** **ON** にしてください。

無線機能に関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本機の無線機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

主な仕様

信号方式： デジタルハイビジョン方式
NTSCカラー、EIA標準方式
PALカラー、CCIR標準方式

電源電圧： バッテリー端子入力 3.6 V（NP-BX1）
USB端子入力 5.0 V

USB充電： DC 5.0 V 500 mA/800 mA

動作温度： −10℃～＋40℃

保存温度： −20℃～＋60℃

外形寸法（約）：
24.2 mm × 47.0 mm × 83.0 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を含む）（同梱アンダーウォーターハウジング含まず）

質量： 約58 g（本体のみ）

使用時総質量：
約83 g（バッテリー含む、同梱アンダーウォーターハウジング含まず）

- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

商標について

- XAVC Sおよび **XAVC S** はソニー株式会社の登録商標です。
- メモリースティックおよび **記** は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、®マークを明記していない場合があります。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、次のURLにアクセスしてください。

http://oss.sony.net/Products/Linux

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。「ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

この製品は国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

ヘルプガイドの「故障かな？と思ったら」を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

相談窓口にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

お問い合わせ窓口のご案内

製品の最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）
http://www.sony.jp/support/actioncam/

製品ホームページ
http://www.sony.jp/actioncam/
 製品の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.jp/support/



| 使い方相談窓口 | 修理相談窓口 |
|----------------------------|-------------------------------|
| フリーダイヤル | フリーダイヤル |
| 0120-333-020 | 0120-222-330 |
| 携帯・PHS・一部のIP電話 | 携帯・PHS・一部のIP電話 |
| 050-3754-9577 | 050-3754-9599 |
| | ※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。 |

FAX(共通) 0120-333-389



| |
|---|
| <p>上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に</p> <p>「405」+「#」（本機や付属品）</p> <p>「404」+「#」（ソフトウェアAction Cam Movie Creator）</p> <p>を押してください。直接、担当窓口へおつながします。</p> |
|---|

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/